

【令和4年度】

経営協議会学外委員からのご意見を本学の運営に活用した主な取組事例

経営協議会学外委員からのご意見	取組事例	備考
令和3年度から設置されたディープテック産業開発機構や農工大VCといった取り組みを起爆剤に、ベンチャー形成に資する動きを講じていただきたいと考える。	研究成果の社会実装に向けた動きの一環として、民間VCであるBPキャピタル株式会社と連携し、TUAT1号投資事業有限責任組合（TUATファンド）の組成／出資を行い、新たな価値を継続して社会に提供する嚆矢とした。	令和4年度第1回（経営協議会） （令和4年4月26日開催）
受験生や在學生に農工大の魅力をもっと発信できるとよい。	学生の視点や発想、能力を生かして、学内の情報収集・発信及びイベントの企画立案などの広報活動に積極的に携わる「学生広報スタッフ制度」を導入し、大学と共に、17名の広報スタッフが本学の知名度及びブランド力向上に寄与することで、受験生や在學生に対する農工大の魅力の発信力を強化した。	令和4年度第1回（経営協議会） （令和4年4月26日開催）